東洋大學新聞
発行所
東洋大学新聞学会
東京都文京区白山5
電話(943)3281内線385
郵便口座　東京71741
一般購読料・年500円

サークル誌・タイプ印刷
太洋社総合印刷(株)
文京区白山4-36
電話(九四〇)四五四八-18
(京華学園)
(九四〇)四五五九

朝鮮—沖縄—東京

排外主義国会粉砕に向け
—秋期決戦—
沖縄・朝鮮人民に呼応し
大衆の注目は沖縄・朝鮮へ

七一年秋、世界と日本アジアに向けている、労働者国家中国の国際承認をめぐる国際の動静、ニクソン中国訪問、ドル危機、円切り上げ、帝国主義、IMF（国際通貨体制）の揺たんな、自民党政権中国承認を含む日中友好運動の盛り上がり、こうした日中の未来の、全国主義統一の国際、情勢を全キ主義動員に注ぎ込んでいる。

南朝鮮における米政権の民衆への弾圧、自国による、自衛隊の存続、軍事基地沖縄の存続、第三次機動戦争、日本労働人民に押しつけ全不況と、農民の負担、全国民に押しつけようとしている。それが、南朝鮮、沖縄に集中されている。それは、帝国主義、アジア反帝闘争かから、そして、海外、南国主義に対する民衆の反撃は、沖縄、南朝鮮から開始されている。平和主義日本、民衆を自己、朝鮮—沖縄—東京を結ぶ、帝国の時代に開始されている。

—10・21国際反戦デー—
国会を包囲し全都を揺がす

全国反戦、関東実業、東京交通、港湾労、教育、医療、自治体、国鉄、電電、郵政、自動車、建設、出版、全学連、全国学生自治会連合、全国高校生、全国高専、全国高校生、全国高専、全国高校生、全国高専

三里塚闘争の地平

空港建設粉砕の水路

山口武秀

今は昔ちょっと前の話である。三里塚第二反対派は多くの勝利闘争をかち取ったといえる。代執行・工事中止の宣言闘争は、今は昔ちょっと前の話である。